

第1回 長崎南北幹線道路ルート選定委員会 議事概要

(必要性や整備効果について)

【委員からの主な意見】

- ・観光や交流の観点から長崎と佐世保を1時間で結ぶことが重要であり、早く整備して欲しい。
- ・重要物流道路の指定が進められており、物流にとっても重要な道路であるので、その観点も必要である。

(ルート選定について)

【委員からの主な意見と事業主体（県）の回答】

- Q. この道路の役割を明確にすることが必要。長トリップをメインにするのか、地元の活性化を目的にするのか。
- A. 基本的には、広域的なネットワークを形成する道路となる。考え方については、整理して次回ご説明したい。
- Q. ICはどこに何か所程度できるのか。ICは広域的な移動を目的にするのか、地元の活性化を目的にするのか。
- A. 今回の1次選定は、ICは検討対象としていない。次回の2次選定で、考え方をお示ししたい。
- Q. 重要物流道路の指定を要望しており、それに対応した幅員になるのか。
- A. 物流面でも重要な道路であり、今から具体的な計画を進めていくので、考慮したものにしたい。
- Q. 有料道路での整備はできないのか。その方が事業には有利ではないか。
- A. 有料にすると料金抵抗により、国道からの転換が小さくなり、国道206号の渋滞緩和への効果が小さくなると考えている。
- Q. ルート延長より、長崎佐世保間を1時間でつなぐことが重要と思うが、どれくらいの期間で完成するのか。どのルート案が一番早く完成するのか。
- A. 一般的には、予算面では事業費が安価な方が、工事施工面では規模（延長）が小さい方が事業期間は短くなる。

(委員会のまとめ)

- ・基本方針、前提条件、評価項目については、特に意見なし。（了承を得た）
- ・一次選定において、基本3ルートのうち、各評価を総合的に検討した結果、西側ルートが最良と選定された。（次回、2次選定を進めることとなった。）